

あーあーあー

—勢和小学校通信—

NO. 2

2021. 4. 12

オバケがあ？

—正直で、まっすぐな—

もう書かすにはいらぬないことがありました。

校長先生は、毎朝みんなが学校へ来たら、校門をしめについてます。そのときにいつもいつか門の横にあるボールが道へところからいようにネット(罫紙)が、ズれているのです。校長先生がきちんとまっすぐにしておいても、次の日はズれているのです。「これは、これは不思議なことだ。」

そこで、「もし、みんなの中にネットを動かしている人がいるならやめてください。みんなじゃなかったら、きっとオバケのせいなんだろうな。心霊現象だ。」というようなことを一斉に校で話しました。

すると、「さよなら」をしたあと、何人かの人が出てきて「校長先生、ごめん

なさい。ボクは何回か動かししました。」と言いに来てくれたのです。

みんな、うれしかったなあ。「犯人だけや」と言ったわけでもなく、やめてほしいと言ったわけなのに。ちゃんと言いに来てくれた。オバケじゃなかった。ほによりも、みんなに正直で、まっすぐな人がたくさんいるということがわかって、うれしくなって、心があたたかくなりました。



3以上

—期待はくらむ6年生—

もう書かすにはいらぬないことがありました。その2。放課後のことです。

1年生教室の前を通ると、1年担当の先生と6年生教員が、机をひっくり返してガサゴソしています。何事かと思えば、1年生が使う机の足のフックを先生といっしょに黙り直してしまっていたのです。

そういえば、「6年生の人たちが運動場で遊んでいるなあ」と思っていたのですが、いつの間にか1年生教室へ。

「1年生が使う机が、少しでもきれいで使いたく。それと先生だけやと大変やな。助けてあげようと思ったのでしょか。どんな理由であろうとも、きっとすばらしい気持ちでしてくれたことは、まちがいないです。

今の6年生が、「6年生を送る会」を進行するすがたや、卒業式、入学式の会場を準備するすがたから、5年生のころすでに、「次の6年生もスゴイよ。」というゆきでした。いやいや、うん以上です。

こんな6年生がいる勢和って、どんな学校になるの？期待はくらむばかりです。

